

岡山金属株式会社  
2017年度環境活動レポート  
(対象期間:2017年 4月～2018年 3月)



発行日: 2018年8月11日

# ご挨拶

私ども岡山金属株式会社は、創文久元年(1861年)に備前池田藩より「潰金銀及び古物取扱の鑑札」を受けた時を創業とする、岡山一長い伝統を持つ金属リサイクル企業です。

先祖より受け継いだ「伝統と信頼」を守るため信用を第一に、また経営理念として掲げる「拡大発展・社会貢献・自己実現」を従業員一丸となって守りつつ、限りある地球資源の循環を担う業種として誇りをもって事業活動を行って参ります。

## 環境方針

当社は、金属くずの収集運搬、加工、卸を主とする事業活動において、本業である産業廃棄物処理業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減の為に省エネルギー（電力・ガソリン・軽油・灯油等の削減）に取組みます。
3. 受託した産業廃棄物の再資源化に取組み、リサイクル率の向上を図ります。
4. 排水量(或いは水使用量)の削減に取組みます。
5. グリーン購入に取組みます。
6. 環境に配慮した収集運搬及び処分に取組みます。
7. この環境方針を全従業員に周知致します。

制定日：2015年 10月 1日

代表取締役社長 佐藤 章夫

## I. 組織の概要

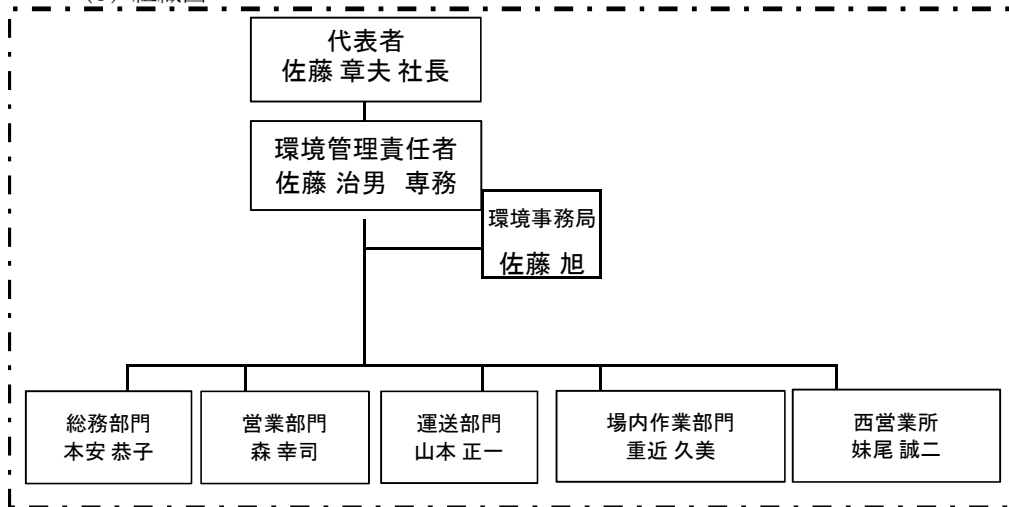
- (1) 名称及び代表者名  
 岡山金属株式会社  
 代表取締役社長 佐藤 章夫
- (2) 所在地  
 本社・本社工場 〒709-0625 岡山県岡山市東区上道北方350番地  
 西営業所 〒701-0205 岡山県岡山市南区妹尾四条4068-6
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先  
 責任者 専務 佐藤 治男 TEL : 086-279-0347  
 担当者 営業部 佐藤 旭 TEL : 086-281-1268  
 FAX : 086-281-1268  
 E-mail : okawest07@yahoo.co.jp
- (4) 事業内容  
 金属くずの収集運搬、加工、卸
- (5) 法人設立年月日 : 昭和13年
- (6) 資本金 : 30 百万円

- (7) 事業の規模  
 売上金額 936百万円(平成29年度実績)  
 主要製品生産量 20,735トン(平成29年度実績)

	本社	西営業所	合計
従業員	25名	4名	29名
延べ床面積	3308㎡	35㎡	3343㎡
敷地面積	11590㎡	2839㎡	14429㎡

- (8) 事業年度 4月～翌年3月

- (9) 組織図



## (10)許可の内容

事業許可名	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物収集運搬許可(岡山市)	08310038859	平成28年5月18日	平成33年5月15日
産業廃棄物収集運搬許可(岡山県)	03301038859	平成28年5月16日	平成33年5月15日
産業廃棄物収集運搬許可(特管)(岡山市)	08360038859	平成29年4月13日	平成34年3月25日
産業廃棄物収集運搬許可(特管)(岡山県)	03351038859	平成29年7月24日	平成34年7月23日
産業廃棄物処分業許可	8320038859	平成28年5月16日	平成33年5月15日
産業廃棄物処理施設設置	(7)-1号	平成9年3月3日	
破碎作業許可	20836000029	平成26年7月1日	平成31年6月30日
第一種フロン類回収	331110027	平成29年2月27日	平成34年2月26日
第二種フロン類回収	20831000029	平成29年6月14日	平成34年6月13日
計量証明事業登録	2-1020	平成4年2月15日	
古物商許可	721060013909	平成8年2月8日	

## (11)施設等の状況

## ■本社工場主要設備

400kw 鋼屑シュレツダプラント (5~7t / h)  
600t ギロチン式オールマイティシャー(5t / h)  
1000tギロチン式シャーリング機(11t / h)  
25kN スクラップローダ  
4.9t クラプトロリ式天井クレーン  
油圧ショベル(0.7クラス)4台  
2.5t ホイルローダー  
他

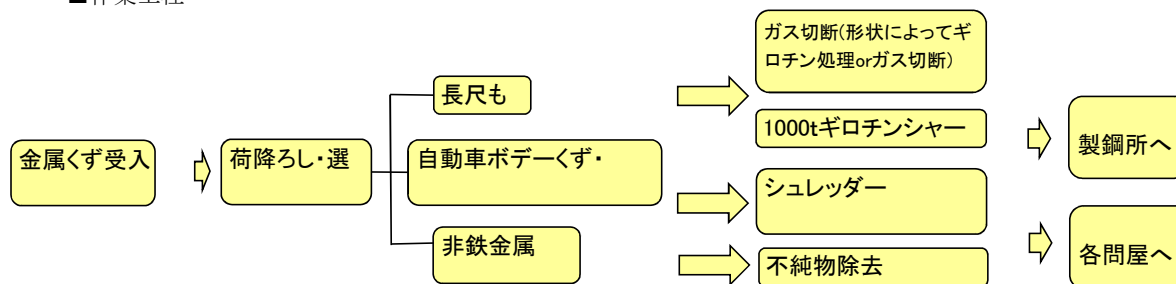
## ■西営業所主要設備

油圧ショベル(0.7クラス)1台  
2.5t ホイルローダー

## ■産業廃棄物収集運搬用車両

車種	台数	車種	台数
大型ダンプ	3	大型ヒアブ	5
4tユニック付き	1	6t平ボディ	1
2t平ボディ	1		

■作業工程



(12) 処理実績  
2015年度(2015年 4月 ~2016年 3月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i) 収集運搬	金属くず(混載)		20,735	
<b>収集運搬量合計</b>			<b>20,735</b> ※	
(ii) 中間処理	鋼くず	ギロチンシャー加工の上製鋼所へ	23,492	
	SHR非鉄	シュレッダー処理の上非鉄問屋へ	56	
	SHRアルミ	シュレッダー処理の上非鉄問屋へ	19	
	<b>再資源化物計</b>		<b>23,567</b>	
	各種産廃	仕分けの上各専門処理業者へ	1,154	
<b>中間処理合計</b>			<b>24,721</b> ※	
(iii) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分	土	市・県処分場へ	285
		木	各処理業者へ	19
		SHRダスト	民間委託業者へ	914
	再資源化等	鋼くず	ギロチンシャー加工の上製鋼所へ	23,492
		SHR非鉄	シュレッダー処理の上非鉄問屋へ	56
		SHRアルミ	シュレッダー処理の上非鉄問屋へ	19
<b>再資源化等量小計</b>		<b>23,567</b>		
<b>中間処理後処分量合計</b>			<b>24,785</b> ※	

※出荷調整などの理由により、収集運搬量と処分量が一致しない

II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 岡山金属株式会社  
対象事業所: 本社、本社工場、西営業所  
対象外: 無し  
活動: 金属くずの収集運搬、加工、卸

III. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	572,474	591,982	525,942	545,982
電力使用量	kWh	333,983	361,916	310,618	315,330
ガソリン使用量	L	11,296	10,169	9,458	8,572
軽油使用量	L	78,356	83,405	86,776	96,411
灯油使用量	L	29,527	25,558	15,868	13,056
A重油使用量	L	7,587	6,904	7,115	8,005
一般廃棄物	kg	不明(2015年10月集計開始)	不明(2015年10月集計開始)	63.4	42.0
最終処分量	t	1,354	1,354	991	1,218
総排水量	m <sup>3</sup>	496	629	787	623

注.LPG使用量は少量のため、削減活動は行方が設定はしていません

#### IV. 環境目標及びその実績

##### (1) 中長期目標

項目	年度	2014年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度
		基準年度	目標	実績	目標	目標	目標
<b>I. 二酸化炭素</b>	kg-CO <sub>2</sub>	572,475	555,301	<b>545,982</b>	549,576	543,851	538,126
排出量合計	対基準(%)	100	97	<b>95</b>	96	95	94
①電力使用量削減 係数: 0.694	kWh	333,983	323,964	<b>315,330</b>	320,624	317,284	313,944
	kg-CO <sub>2</sub>	246,479	224,831	<b>218,839</b>	220,195	220,195	220,195
	対基準(%)	100	97	<b>94</b>	96	95	94
②ガソリン使用量削減 係数: 2.32166	L	11,296	10,957	<b>8,572</b>	10,844	10,731	10,618
	kg-CO <sub>2</sub>	26,225	25,439	<b>19,901</b>	25,176	24,914	24,652
	対基準(%)	100	97	<b>76</b>	96	95	94
③軽油使用量削減 係数: 2.62434	L	78,356	76,005	<b>96,411</b>	75,222	74,438	73,655
	kg-CO <sub>2</sub>	205,633	199,464	<b>253,015</b>	197,407	195,351	193,295
	対基準(%)	100	97	<b>123</b>	96	95	94
④灯油使用量削減 係数: 2.49193	L	29,527	28,641	<b>13,056</b>	28,346	28,051	27,755
	kg-CO <sub>2</sub>	73,579	71,372	<b>32,535</b>	70,636	69,900	69,164
	対基準(%)	100	97	<b>44</b>	96	95	94
⑤A重油使用量削減 係数: 2.70963	L	7,587	7,359	<b>8,005</b>	7,284	7,208	7,132
	kg-CO <sub>2</sub>	20,558	19,941	<b>21,691</b>	19,736	19,530	19,324
	対基準(%)	100	97	<b>106</b>	96	95	94
<b>II. 廃棄物排出量の削減</b>	kg	63.4	62.8	<b>42.0</b>	62.1	61.5	62.6
一般廃棄物の削減 (2016～集計)	対基準(%)	100	98	<b>66</b>	97	96	95
<b>III. 水使用量の削減</b>	m <sup>3</sup>	496	481	<b>623</b>	476	471	466
	対基準(%)	100	97	<b>126</b>	96	95	94
<b>IV. 化学物質適正管理</b>		取扱い無し					
<b>V. グリーン購入</b> (エコ品/全品目(%)) (2015～集計)	割合(%)	42.2	43.2	42.9	44.2	45.2	46.2
	対基準(±%)	0	基準年+1	0.7	基準年+2	基準年+3	基準年+4
<b>VI. 環境配慮</b> 取扱量(仕入れ重量)の増加	t	20,394	21,006	20,735	21,210	21,414	21,618
	対基準(%)	100	103	102	104	105	106
<b>VII. 会社周辺の清掃</b>		1回/年	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月
	対基準(%)		継続	継続	継続	継続	継続

注1. 電力による二酸化炭素排出量は、中国電力(株)の平成28年度の二酸化炭素排出係数 0.694 kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いて算出した。

注2. LPG使用量は少量のため、削減活動は行方が設定はしていません

## V. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
<b>I. 二酸化炭素排出量総量の削減</b>		
・下記の通り	○	目標達成。内容は以下の通り。
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>	○	
・エアコンの温度管理 ・処理工程の効率化 ・照明管理 ・省エネ機器の導入		電力使用の大部分はやはり加工機械であるが、取扱量に対して電力使用量は減少している。
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン、軽油)</b>	△	
・アイドリングストップ ・効率的なルートでの営業 ・適正な車両の整備 ・エコドライブ		ガソリン:減少、軽油:増加、灯油:減少、A重油:増加 ガソリン使用量減の要因は営業車1台をHV車に変えたため。 機械・トラック燃料の消費量はトータルで増加しているが、従業員たちには心当たり無し、とのこと。一層の意識を持つ。
<b>重機など燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油、灯油、重油)</b>	×	
・アイドリングストップ ・適正な機械の整備 ・作業工程を減らす計画		自動車燃料同様、前年度との比較が難しくなっている。省エネ側面を意識した営業活動を引き続き続け様子を見る。従業員には改めて周知をし、意識を高める。
<b>II. 廃棄物排出量の削減(一廃)</b>	△	
・裏紙使用の徹底 ・個々の意識の向上		発生量の実績収集完了。発生量がそもそも少ないが、経費削減の側面もあるので引き続き意識していく。
<b>III. 水使用量の削減</b>	△	
・節水意識の向上		基準年と比較すると増加しているが、前年と比較すると減少している。このまま意識を高めつつ様子を見る。
<b>V. グリーン購入</b>	△	
・事務用品のグリーン購入比率向上 ・省エネ型機器の購入		目標の1%減には届かなかったが減少はしている。いっそうの努力をする。
<b>VI. 環境配慮(取扱量の増加)</b>	×	
		目標には到達していないが、市況を考慮すると妥当だと思われる。営業活動がそのまま環境活動にちよっけつてくることを従業員一同念頭に置き、いっそうの努力をする。
<b>VII. 会社周辺の清掃</b>	○	
・月に一度の会社周辺の清掃		月に一度の会社周辺のゴミ拾いは継続している。また、その他の営業活動に絡め清掃の機会は増えてきている。従業員の間でも習慣になってきており、いい傾向である。

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

※【IV. 化学物質】の項目は省略

## VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
振動規制法	機器設置・使用に伴う振動の把握、対応	遵守
消防法	各危険物(主に油類)の管理	遵守
浄化槽法	浄化槽の設置、管理	遵守
悪臭防止法	事業活動に伴う悪臭物質の把握、対応	遵守
高圧ガス保安法	高圧ガスの取り扱い	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

## VIII. 代表者による全体の評価と見直し

昨年度より労働環境の見直しなどがより活発になっており、そういった活動からもいい傾向が見られるように思います。

業種から環境に直結する反面、事業規模から化石燃料や電力など、環境への負担が大きいのも事実であることを、エコアクションの活動を通じて痛感しております。

引き続き従業員一丸となって、地球環境に対してどうあるべきかを意識しつつ日々営業を続けてまいります。

2018年7月31日

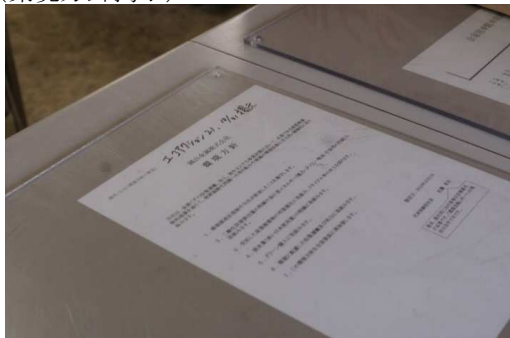
代表取締役 佐藤 章夫

### □環境活動の紹介

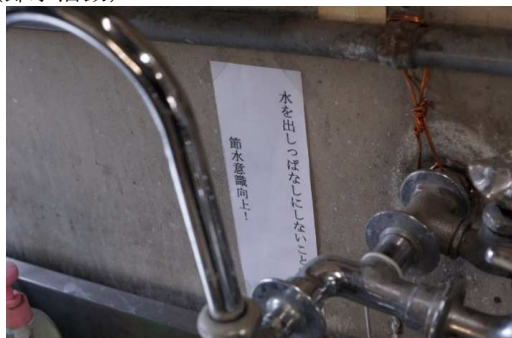
(会社周辺の清掃)



(環境方針掲示)



(節水活動)



(電力デマンド計)

